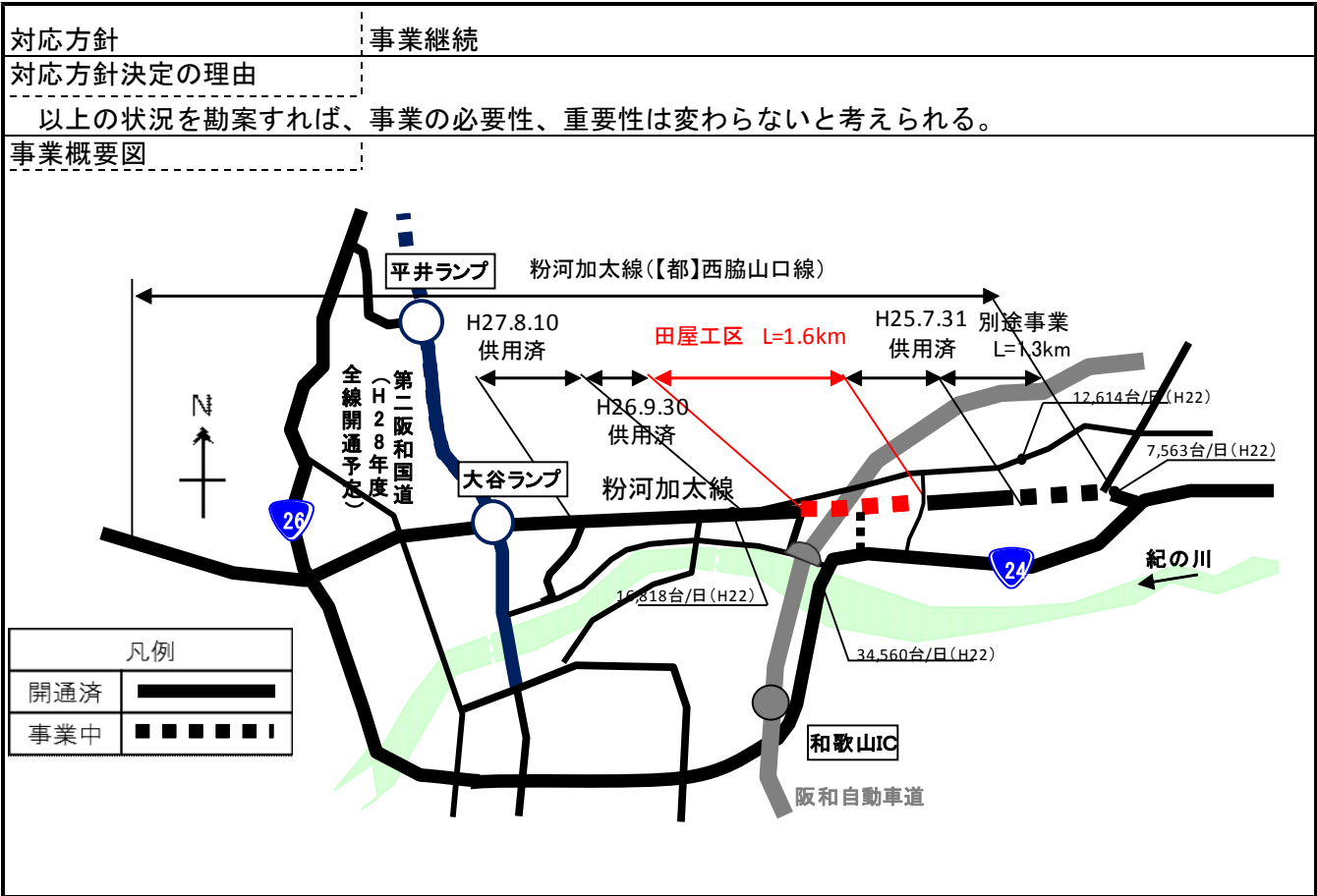


再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：環境安全課

担当課長名：菊地 春海

事業名 粉河加太線（田屋工区） <small>こかわか だせん たや</small>	事業区分 地方道	事業主体 和歌山県														
起終点 自：和歌山県和歌山市弘西 至：和歌山県和歌山市直川 <small>わかやまけんわかやましひろにし わかやまけんわかやましのうがわ</small>		延長 1.6 km														
事業概要 粉河加太線は、紀の川市粉河から和歌山市加太に至る約40kmの主要地方道である。田屋工区は、都市計画道路西脇山口線の一部を構成し、和歌山市北部地域の東西軸の形成及び地域高規格道路第二阪和国道の大谷ランプへのアクセス向上を目的とした延長約1.6kmの道路事業である。																
H24年度事業化	S39年度都市計画決定 H23年度都市計画変更	H25年度用地着手														
全体事業費 約35億円		事業進捗率 79%														
計画交通量 11,400～16,200台/日		供用済延長 — km														
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">B/C</td> <td style="width: 20%;">総費用</td> <td style="width: 20%;">総便益</td> <td style="width: 40%;">基準年</td> </tr> <tr> <td>(事業全体) 4.0</td> <td>(残事業)/ (事業全体) 7.4/35億円</td> <td>(残事業)/ (事業全体) 139/139億円</td> <td rowspan="3">平成27年</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 18.8</td> <td>事業費：7.0/35億円</td> <td>走行時間短縮便益：93/93億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持管理費：0.43/0.43億円</td> <td>走行経費減少便益：32/32億円 交通事故減少便益：14/14億円</td> </tr> </table>	B/C	総費用	総便益	基準年	(事業全体) 4.0	(残事業)/ (事業全体) 7.4/35億円	(残事業)/ (事業全体) 139/139億円	平成27年	(残事業) 18.8	事業費：7.0/35億円	走行時間短縮便益：93/93億円		維持管理費：0.43/0.43億円	走行経費減少便益：32/32億円 交通事故減少便益：14/14億円	
B/C	総費用	総便益	基準年													
(事業全体) 4.0	(残事業)/ (事業全体) 7.4/35億円	(残事業)/ (事業全体) 139/139億円	平成27年													
(残事業) 18.8	事業費：7.0/35億円	走行時間短縮便益：93/93億円														
	維持管理費：0.43/0.43億円	走行経費減少便益：32/32億円 交通事故減少便益：14/14億円														
感度分析の結果 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量：B/C=3.3～4.0 (交通量 ±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量：B/C=16.9～20.7 (交通量 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=3.6～4.4 (事業費 ±10%)</td> <td>事業費：B/C=17.2～20.8 (事業費 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=3.8～4.1 (事業期間±20%)</td> <td>事業期間：B/C=18.4 (事業期間+20%)</td> </tr> </table>			(事業全体) 交通量：B/C=3.3～4.0 (交通量 ±10%)	(残事業) 交通量：B/C=16.9～20.7 (交通量 ±10%)	事業費：B/C=3.6～4.4 (事業費 ±10%)	事業費：B/C=17.2～20.8 (事業費 ±10%)	事業期間：B/C=3.8～4.1 (事業期間±20%)	事業期間：B/C=18.4 (事業期間+20%)								
(事業全体) 交通量：B/C=3.3～4.0 (交通量 ±10%)	(残事業) 交通量：B/C=16.9～20.7 (交通量 ±10%)															
事業費：B/C=3.6～4.4 (事業費 ±10%)	事業費：B/C=17.2～20.8 (事業費 ±10%)															
事業期間：B/C=3.8～4.1 (事業期間±20%)	事業期間：B/C=18.4 (事業期間+20%)															
事業の効果等 ①和歌山市北部地域における東西軸が形成され、周辺地域の利便性が向上する。 ②4車線の直線道路の整備により、快適な走行空間が確保される。 ③粉河加太線（現道）をはじめとした周辺道路についても、慢性的な交通混雑が緩和されることで、安全性、快適性の向上及び沿道環境の改善が期待される。 ④歩道の設置により安全で快適な歩行空間が確保される。																
関係する地方公共団体等の意見 「第4次和歌山市長期総合計画・後期基本計画」(H26.3策定)の『外環状線』に位置付けられている重要な路線である。																
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める。																
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 なし																
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・平成24年度に事業化。 ・用地取得率100%、事業進捗率79%（平成28年3月末時点）																
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成28年度の完成に向け工事を推進していく。																
施設の構造や工法の変更等 工法に変更はない。引き続き現場発生土の埋戻材や盛土材への転用による建設副産物の発生抑制、再生材の利用やプレキャスト製品の使用によるコスト縮減に努めていく。																



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。